

2019年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 長久手市商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										備考									
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価				今後の展開・改善点等							
巡回・窓口相談指導事業	地域の企業、特に経営基盤が弱いとされる小規模零細企業を中心に、経営指導員を始めとした商工会職員が事業所訪問を行う。金融・税務等経営全般について様々な相談を聴き、対応・指導をすることにより経営の改善を図り、健全な企業を育成する。さらに、創業予定者等経営全般に係る悩みを持った方達に対し相談窓口を設置し、経営に資する指導を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 巡回指導 実企業指導件数 138件 年間相談指導件数 297件 非会員実企業指導件数17件 年間相談指導件数 21件 窓口指導 実企業指導件数 364件 年間相談指導件数 1703件 非会員実企業指導件数 38件 年間相談指導件数 72件 創業相談指導 巡回 実企業指導件数 0件 年間相談指導件数 0件 窓口 実企業指導件数 3件 年間相談指導件数 3件 非会員実企業指導件数 3件 年間相談指導件数 3件 課題解決提案件数 29件 経営革新承認件数 0件 	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 176.6 %)			指標	課題解決提案件数 (達成度 96.7 %)			商工会職員による事業所への訪問と相談窓口の設置により、専門的な指導の実施や情報提供、機能の充実強化が図られ小規模事業者、会員事業所の問題点・改善点を提案できた。	総合評価 A	事業側評価 A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	目標数値・実施方法については現行通りとし、実企業指導件数のUPに努める。	○		
				目標数値	1,134	実績数値	2,003	目標数値	30	実績数値	29				調査結果	事業者への調査結果	A	A	現行どおり			現行どおり	
				目標達成度	A	必要性	実施方法①	実施方法②	A	A	現行どおり				現行どおり								
記帳継続指導事業	商工会の職員が、小規模零細企業等を対象に正しい記帳方法の仕方、決算・確定申告の指導を行い適正な税務申告と経理の自主化や計数管理による経営力の向上に結びつける。	<ul style="list-style-type: none"> 期首作成から記帳、各種帳簿作成、残高試算表作成を行い、複式簿記での決算及び申告書作成の指導を行った。源泉徴収簿、年末調整及び法定調書等作成指導を行った。 記帳指導事業所数 125件 指導延日数 634日 指導延回数 1,395回 確定申告書受付数 302件 	小規模事業者	指標	記帳指導事業所数 (達成度 92.6 %)			指標	確定申告書受付数 (達成度 100.7 %)			事業者の記帳事務の省力化を図り、期限内申告の適正化につながった。また、細部にわたる指導を行うことで複式簿記での青色申告特別制度の特典を受けていただき、試算表による指導分析を職員が行うことで経営力の強化支援になった。	総合評価 A	事業側評価 A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	現行どおり実施。1件でも多く事業所数を増やすよう努める。			
				目標数値	135	実績数値	125	目標数値	300	実績数値	302				調査結果	事業者への調査結果	A	A	現行どおり			現行どおり	
				目標達成度	B	必要性	実施方法①	実施方法②	A	A	現行どおり				現行どおり								
講習会事業	多様化する経営環境に対応するため小規模事業者にとって有意義な講習会を開催した。 ・集団講習会 年11回 50人（うち小規模事業者 32人） ・個別講習会 年45回219人（うち小規模事業者212人） 合計 年56回269人（うち小規模事業者244人）	<ul style="list-style-type: none"> 期首作成から記帳、各種帳簿作成、残高試算表作成を行い、複式簿記での決算及び申告書作成の指導を行った。源泉徴収簿、年末調整及び法定調書等作成指導を行った。 記帳指導事業所数 125件 指導延日数 634日 指導延回数 1,395回 確定申告書受付数 302件 	小規模事業者	指標	講習会終了者数 (達成度 90.6 %)			指標	講習会開催数 (達成度 112.0 %)			経営に必要な知識の習得や経営改善・技術革新に役立つ情報の収集をすることができ地域小規模事業者の経営安定・発展を見込むことができた。	総合評価 A	事業側評価 A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	現行どおり実施。目標は下げるが、更なる出席率の向上に努める。	○		
				目標数値	297	実績数値	269	目標数値	50	実績数値	56				調査結果	事業者への調査結果	A	B	下げる			現行どおり	
				目標達成度	A	必要性	実施方法①	実施方法②	A	A	現行どおり				現行どおり								
若手後継者等育成事業	商工業の後継者である青年、若手経営者及び商工業に携わる女性に対し、経営に必要な知識の習得や資質の向上を図るための講習会・研修会を開催し受講してもらい、小規模企業の振	<ul style="list-style-type: none"> 期首作成から記帳、各種帳簿作成、残高試算表作成を行い、複式簿記での決算及び申告書作成の指導を行った。源泉徴収簿、年末調整及び法定調書等作成指導を行った。 記帳指導事業所数 125件 指導延日数 634日 指導延回数 1,395回 確定申告書受付数 302件 	若手後継者等	指標	講習会等への参加人数 (達成度 86.7 %)			指標	講習会参加者満足度 (達成度 %)			各部員としての資質向上を図り、各部活動の活性化につなげることができた。	総合評価 B	事業側評価 B	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	現行どおり実施。更なる出席率の向上に努める。			
				目標数値	15	実績数値	13	目標数値		実績数値					調査結果	事業者への調査結果	B	B	現行どおり			現行どおり	
				目標達成度	B	必要性	実施方法①	実施方法②	B	B	現行どおり				現行どおり								
若手後継者等育成事業	講演会の開催、全国大会の参加を通じて、若手後継者・地域の発展に寄与できる人材育成を目的とする。 地域の子ども達に商売について学んでもらう子ども商店街を開催、子ども達との事業をすることで、青年部活動と地域事業者を広く周知させ、地元での消費・地域経済の発展に寄与する。	<ul style="list-style-type: none"> 期首作成から記帳、各種帳簿作成、残高試算表作成を行い、複式簿記での決算及び申告書作成の指導を行った。源泉徴収簿、年末調整及び法定調書等作成指導を行った。 記帳指導事業所数 125件 指導延日数 634日 指導延回数 1,395回 確定申告書受付数 302件 	若手後継者等	指標	講習会等への参加人数 (達成度 60.0 %)			指標	講習会参加者満足度 (達成度 125.0 %)			講演会を通じて経営について正しく理解することができ、今後の自社の発展の一助となった。 全国の青年部員との交流で、様々な差を知り先見性と多様性を備えた後継者としての素質を高めることができた。 子ども商店街においての青年部活動・地域事業者のPRは、地元での消費につながった。	総合評価 A	事業側評価 A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	現行どおり実施。女性部も講習会を開催することとし、青年部・女性部合わせて更なる出席率の向上に努める。			
				目標数値	10	実績数値	6	目標数値	80(%)	実績数値	100				調査結果	事業者への調査結果	B	A	上げる			現行どおり	
				目標達成度	B	必要性	実施方法①	実施方法②	A	A	現行どおり				現行どおり								
地域産業祭事業（ながくて市民まつり）	地域内事業者数ならびに人口が増加している中、まつりの集客力を活かし本市内の商工業を地域住民に紹介・PRすることを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> 期首作成から記帳、各種帳簿作成、残高試算表作成を行い、複式簿記での決算及び申告書作成の指導を行った。源泉徴収簿、年末調整及び法定調書等作成指導を行った。 記帳指導事業所数 125件 指導延日数 634日 指導延回数 1,395回 確定申告書受付数 302件 	地域内事業者（商工会員）ならびに住民	指標	来場者数 (達成度 115.0 %)			指標	出店件数 (達成度 105.0 %)			好天に恵まれ来場者数も伸び、催事を通して地域住民に地域内事業者（商工会員）の事業内容等をPRすることができた。	総合評価 A	事業側評価 A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	現行どおり実施。市内事業者の情報発信に資する。	○		
				目標数値	20,000	実績数値	23,000	目標数値	20	実績数値	21				調査結果	事業者への調査結果	A	A	現行どおり			現行どおり	
				目標達成度	A	必要性	実施方法①	実施方法②	A	A	現行どおり				現行どおり								
観光振興事業（長久手古戦場桜まつり）	地域振興の一助として、本市の恵まれた歴史的財産を活かした観光事業を行う。本市を古戦場を通して広くPRするとともに、住民間に交流の場を提供し地域活性化と文化振興に寄与する。	<ul style="list-style-type: none"> 期首作成から記帳、各種帳簿作成、残高試算表作成を行い、複式簿記での決算及び申告書作成の指導を行った。源泉徴収簿、年末調整及び法定調書等作成指導を行った。 記帳指導事業所数 125件 指導延日数 634日 指導延回数 1,395回 確定申告書受付数 302件 	地域内事業者ならびに住民	指標	来場者数 (達成度 160.0 %)			指標	講習会参加者満足度 (達成度 %)			歴史的財産と市の特性を活用し、地域振興の一助として地域資源・観光資源の周知をするとともに来場者へふれあいの場を提供することができた。	総合評価 A	事業側評価 A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	令和2年度は中止	○		
				目標数値	5,000	実績数値	8,000	目標数値		実績数値					調査結果	事業者への調査結果	A	B	廃止			実施方法①	実施方法②
				目標達成度	A	必要性	廃止	廃止	A	A	廃止				廃止								

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

2019年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 長久手市商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価											備考							
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価					今後の展開・改善点等						
商店街振興事業 （ながくて商店街事業）	平成19年度から3年間、がんばる商店街事業として実施してきた「ながくて商店街事業」について、継続して維持管理運営を行い地域商工業をPRする。	インターネットモールとして「ながくて商店街」を運営し、登録会員事業所のこだわり・自慢・オススメを紹介した。さらに、QRコードを利用した「NAGAKUTEガイド」と「ながくて商店街」を連動させた簡易更新システムにより、最新情報をいち早く提供、参加登録店のPRと地域事業者の活性化を図った。	地域内事業者 （商工会員）	指標	登録店数 (達成度 103.9 %)			指標	ページビュー (達成度 97.7 %)			参加登録店の窓口・案内役として、市内外の方々へ多くの情報発信ができた。	総合評価 A	事業 実施 評価 の 側 面	自己評価	事業者への 調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	現行どおり実施。更に「ながくて商店街」のPR強化を図る。	
				目標数値	330	実績数値	343	目標数値	20,000	実績数値	19,536				A		B		現行どおり	廃止		
				目標達成度	A	必要性	実施方法①	実施方法②	A	現行どおり	廃止											
地域振興事業 （プレミアム商品券発行事業）	消費税率上げが、低所得者・子育て世代の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起することを目的としたプレミアム商品券発行事業について市役所が行う事業の	長久手市役所が行うプレミアム商品券事業の一部を担い、長久手市内の商工業者に対し商品券を扱う店舗を募集、市内商工業者の活性化を図った。	市内商工業者	指標	登録取扱店 (達成度 110.0 %)			指標	(達成度 %)			消費税率上げの影響を緩和し、地域における消費を喚起することができた。	総合評価 A	事業 実施 評価 の 側 面	自己評価	事業者への 調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	令和2年度は実施予定なし。	
				目標数値	300	実績数値	330	目標数値		実績数値					A		B		廃止	実施方法①		実施方法②
				目標達成度	A	必要性	実施方法①	実施方法②	A	廃止												
地域振興事業 （子ども商店街事業）	市内の子どもたちに自分が将来やってみたい商売を実際に体験してもらい、商売とは何か、その厳しさや楽しさを知ってもらう。	子ども達が将来就きたい仕事への道筋を見せることで、仕事に対する意欲を引き出し、また、商売で得た利益を市内に還元することで地域に貢献する喜びを実感してもらった。ワークショップ5回 8/18アビタ長久手店1階南側テラスにて開催(10店舗) 後日事業報告会	市内商工業者 ならびに 市内小中学生	指標	参加者数 (達成度 115.7 %)			指標	(達成度 %)			出店準備から接客マナー・商売の仕組みについて学び、働くことの大変さや難しさを、また当日は多くのお客様に来店いただき商品が売れた時の喜びを子ども達に実感してもらうことができた。利益の一部を図書として市内の学校へ寄贈することで社会貢献ができた。	総合評価 A	事業 実施 評価 の 側 面	自己評価	事業者への 調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	現行どおり実施。	
				目標数値	70	実績数値	81	目標数値		実績数値					A		B		現行どおり	実施方法①		実施方法②
				目標達成度	A	必要性	実施方法①	実施方法②	A	現行どおり												
観光振興事業 （イベント支援事業）	愛知万博開催時に協力した事業者を中心に、モリコロパーク等で開催されるイベントに参加。来場された方々をもてなしながら同時に長久手市をPRし、地域事業者の活性化を図ることを目的とする。	モリコロパーク関連イベント等に積極的に参加し、長久手市をPRした。イベント2回 出店件数21件	地域内事業者 （商工会員） ならびに住民	指標	出店件数 (達成度 46.7 %)			指標	(達成度 %)			長久手市のPRを図るとともに、地域内事業者の出店により地域事業のPR及び情報発信ができた。	総合評価 B	事業 実施 評価 の 側 面	自己評価	事業者への 調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	イベント減少のため、目標数値は下げるが、実施方法は現行どおりとする。	
				目標数値	45	実績数値	21	目標数値		実績数値					B		B		下げる	実施方法①		実施方法②
				目標達成度	C	必要性	実施方法①	実施方法②	B	現行どおり												
青年部・女性部事業	青年部及び女性部員間での交流や、社会福祉等を通じて地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与することを目的とし、さらに部員の健康の増進を図る。	部員の加入促進、商工会事業参加、地域活動等（長久手古戦場桜まつり、ながくて市民まつり、愛知駅伝）を行った。部員の資質向上のための講習会を開催(3回)。	青年部・ 女性部員	指標	部員数 (達成度 95.7 %)			指標	(達成度 %)			地域に根ざした活動を展開し、地域振興と“まち”の活性化に寄与した。	総合評価 B	事業 実施 評価 の 側 面	自己評価	事業者への 調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	現行どおり実施し、更なる新規部員獲得に努める。	
				目標数値	70	実績数値	67	目標数値		実績数値					B		B		現行どおり	実施方法①		実施方法②
				目標達成度	B	必要性	実施方法①	実施方法②	B	現行どおり												
福利厚生事業 （会員親睦ゴルフ大会）	会員事業者を対象にゴルフ大会を行い、事業者の福利厚生に寄与するとともに会員同士の交流親睦を図る。	ゴルフ大会を開催し、終了後表彰式を行った。	地域内事業者 （商工会員）	指標	参加者数 (達成度 85.0 %)			指標	(達成度 %)			ゴルフの大会と終了後の表彰式を通じて、会員同士の交流親睦を図るとともに事業者の福利厚生に寄与した。	総合評価 B	事業 実施 評価 の 側 面	自己評価	事業者への 調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	現行どおり実施。	
				目標数値	40	実績数値	34	目標数値		実績数値					B		B		現行どおり	実施方法①		実施方法②
				目標達成度	B	必要性	実施方法①	実施方法②	B	現行どおり												
福利厚生事業 （中小企業等共済事業）	中小企業、小規模企業の経営・雇用の持続的な安定を図るために、各種共済制度を普及推進。企業の健全な育成に資することを目的とする。	定期的に各種共済（小規模企業共済・倒産防止共済・特定退職金共済・中小企業退職金共済・中小企業共済等）の推進を行う。小規模事業者のニーズにあった商品や巡回窓口指導等に制度説明することで加入促進を図った。	小規模事業者	指標	加入者数 (達成度 99.8 %)			指標	(達成度 %)			企業者の事業にあった共済制度を勧め、共済加入で事業者の生活安定と雇用対策・労務改善等を行うことができた。	総合評価 A	事業 実施 評価 の 側 面	自己評価	事業者への 調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	現行どおり実施。各種共済の加入促進を勧め事業者の経営の安定化を図り、また自己財源確保に努める。	
				目標数値	600	実績数値	599	目標数値		実績数値					A		A		現行どおり	実施方法①		実施方法②
				目標達成度	B	必要性	実施方法①	実施方法②	A	現行どおり												
労働保険事業	事業主等の委託を受けて、事業主に代わって労働保険料の申告納付その他、労働保険に関する各種届出等の事務手続きを行うことにより、中小企業事業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図ることを目的とする。	労働保険事務組合としての委託業務 年度更新：概算保険料及び確定保険料の申告・納付 3期ごとの保険料徴収及びその納付 委託、委託解除及び各種変更手続き	地域内事業者	指標	委託事業者数 (達成度 98.0 %)			指標	(達成度 %)			事業主の委託を受けて労働保険の事務を処理する事で、事業主の事務軽減につながった。	総合評価 A	事業 実施 評価 の 側 面	自己評価	事業者への 調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	現行どおり実施。事業主の行うべき事務処理の負担軽減を図るための事業として、今後も利用者の拡大にあたる。	
				目標数値	200	実績数値	196	目標数値		実績数値					A		A		現行どおり	実施方法①		実施方法②
				目標達成度	B	必要性	実施方法①	実施方法②	A	現行どおり												
部会・委員会	商業、工業の各部会、NMC委員会（青年部OB）の活動により、市内事業者の発展に寄与する。	・NMC委員会 8回 ・部会 7回	商業・ 工業部員、 NMC委員	指標	部会等開催数 (達成度 75.0 %)			指標	(達成度 %)			イベント事業に協賛し消費者への還元や地域振興・街づくりに寄与することができた。	総合評価 B	事業 実施 評価 の 側 面	自己評価	事業者への 調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	現行どおり実施していくが、部会開催数を増やす。	
				目標数値	20	実績数値	15	目標数値		実績数値					B		B		現行どおり	実施方法①		実施方法②
				目標達成度	B	必要性	実施方法①	実施方法②	B	現行どおり												

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。